

Yamaha Steinberg FW Driver V1.5.2 for Windows Release Notes

主なアップデートの内容

V1.5.1 → V1.5.2

- 以下のような状況でノイズが発生する場合に、Yamaha Steinberg FW Driver の設定を変更できるユーティリティソフトウェアを同梱しました。
 - レイテンシーの設定を最大にしてもノイズが発生する
 - O2Micro 社製、または JMicron 社製のチップを使用した IEEE1394 インターフェースを使用している
- 詳細は、本リリースノートの「[ユーティリティソフトウェアについて](#)」をご参照ください。
- (Vista 64 ビット版) Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルを Windows のコントロールパネルから起動した場合、Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルを終了するときに、Windows の Program Compatibility Assistant (PCA)が起動することがある問題を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

過去のアップデート内容

V1.1.0 → V1.5.1 (32 ビット版)

V1.2.0 → V1.5.1 (64 ビット版)

- Windows 7 に対応しました。
- (Windows Vista/7) プログラムのパフォーマンスを向上させる「Enable MMCSS」機能を追加しました。
Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、この機能のオン/オフを切り替えます。
- Windows Vista 64 ビット版で、4GB 以上のメモリーを搭載している場合の入力レイテンシーを改善しました。
- 次の条件のときに、Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、設定の変更ができなくなる不具合を修正しました。
 1. ホストアプリケーションを使用中、コンピューターが休止状態に入る。
 2. 休止状態から復帰したあと、ホストアプリケーションを終了する。

ユーティリティーソフトウェアについて

以下のような状況でノイズが発生する場合、同梱のユーティリティーソフトウェアで Yamaha Steinberg FW Driver の設定を変更することで改善できることがあります。

- レイテンシーの設定を最大にしてもノイズが発生する
- O2Micro 社製、または JMicron 社製のチップを使用した IEEE1394 インターフェースを使用している

レイテンシーを最大に設定してもノイズが発生する場合の対処方法

一般的にノイズが発生する場合は、Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、ドライバーのバッファサイズを大きく設定することで解決しますが、環境によってはバッファサイズを最大に設定しても、まれにノイズが発生することがあります。これはオーディオドライバーの処理に影響を与える他のドライバーが原因の場合が多くあります。例えば無線 LAN のドライバーは、オーディオドライバーの処理に大きな影響を与えるといわれていますが、そのようなドライバーを取り除くことが、ノイズを解消する最善の方法と考えられます。コンピューターに搭載されている無線 LAN を使用していない場合は、無線 LAN をオフにするか、デバイスマネージャーを使って無線 LAN を無効に設定することをおすすめします。

影響しているドライバーが特定できない場合や、無効にできない場合は、ユーティリティーソフトウェアを使って、ドライバーの IEEE1394 バッファサイズを大きく設定することによりノイズの問題が改善する場合があります。

IEEE1394 バッファサイズを大きく設定する手順は下記のとおりです。

- 1) ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Utility」フォルダーを開きます。
- 2) 「ysfwutility.exe」をダブルクリックしてユーティリティーソフトウェアを起動します。
- 3) 「IEEE1394 Buffer Size」設定画面で、「Large」を選択して「OK」ボタンをクリックします。
- 4) 画面に表示されるメッセージに従って、コンピューターを再起動します。

NOTE:

- IEEE1394 バッファサイズを元に戻すには「IEEE1394 Buffer Size」設定画面で、「Small [Default]」を選択します。
- IEEE1394 バッファサイズを変更すると、MIDI のレイテンシー値も変わります。MIDI をお使いの場合は、DAW ソフトウェアの MIDI レイテンシーに関する設定もご確認ください。

O2Micro 社製、または JMicron 社製のチップを使用した IEEE1394 インターフェースをお使いでノイズが発生する場合の対処方法

これらのチップは、Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器と互換がないことが確認されています。推奨の PC カード、または PCI カードを別途用意してお使いいただくことをおすすめしますが、IEEE1394 バスの転送スピードを S200 に設定することでノイズの問題が改善する場合があります。

NOTE:

この設定は、Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を 1 台のみ接続する場合に有効です。

IEEE1394 バスの転送スピードを S200 に設定する手順は下記のとおりです。

- 1) ダウンロードした圧縮ファイルの解凍先にある「Utility」フォルダーを開きます。
- 2) 「ysfwutility.exe」をダブルクリックして、ユーティリティソフトウェアを起動します。
- 3) 「IEEE1394 Transmission Speed」設定画面で、「S200」を選択して「OK」ボタンをクリックします。
- 4) 画面に表示されるメッセージに従って、コンピューターを再起動します。

NOTE:

IEEE1394 バスの転送スピードを元に戻すには「IEEE1394 Transmission Speed」設定画面で、「S400 [Default]」を選択します。

1394 インターフェースに使用されているチップは、以下の手順で確認できます。

- 1) Windows のデバイスマネージャーを開きます。
Windows の各バージョンでのデバイスマネージャーの開き方は、ドライバのインストールガイドを参照してください。
- 2) 「1394 バスホストコントローラー」からお使いの IEEE1394 ホストコントローラーをダブルクリックしてプロパティ画面を表示します。
- 3) 詳細タブから「デバイスインスタンス ID」を選択します。
- 4) 表示される VendorID, DeviceID より確認します。

PCI¥VEN_1217&DEV_00F7&..... - O2Micro 社製チップ

PCI¥VEN_197B&DEV_2380&..... - JMicron 社製チップ

本文に掲載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

(C) 2010 Yamaha Corporation All Rights Reserved.